

「同じ地域に学ぶ子どもたちの教育のために、

小・中・地域の交流と連携を深めよう」

## I 主題設定の理由

- 同じ地域に学ぶ子どもたちを教育する立場で、地域が抱える教育課題を共有し、その解決に向けた指導に結び付ける。
- 地域との連携を強化し、「地域の子供は、地域で教育する」という視点で地域の教育力向上を図る。
- 小学校・中学校の連携を強化し、小・中の系統的な教育の在り方を研究する。

## II 研究の具体的な内容

### 1 第1回ブロック交流研究会

- (1) 目的 松里ブロックの松里中学校、井尻小学校、松里小学校の小中学校教職員が地域研修を行い、地域の歴史や文化を学ぶことで地域理解を深める。また、児童・生徒の様子や地域の様子についての情報交換をすることで、地域の教育課題を明らかにし、連携して児童・生徒の健全育成を図る。
- (2) 日時 令和元年 8月7日(水)
- (3) 場所 国宝公開見学 菅田天神社  
松里地区の情報交換 松里中学校
- (4) 内容 ①国宝公開見学

842年に藤原伊太勢雄の勅命より創建された菅田天神社には、武田家の重宝として代々伝わる盾無鑑がある。普段はレプリカのみ一般開放されることが多いが、特別公開として8月7日に本物が展示された。甲州市の歴史的遺産や、松里地区の誇りでもある武田家の歴史などについて学び、教養を深め、今後の授業に生かせるような内容にした。

#### ②松里地区の情報交換

### 2 第2回ブロック交流研究会

- (1) 目的 小学校の授業の様子を参観し、児童の生徒を把握する。  
学習や生活の様子を情報交換することで、地域の教育的課題を明らかにし、小中連携して児童生徒の健全な育成を図る。
- (2) 日時 令和元年11月6日(水)
- (3) 場所 甲州市立松里小学校
- (4) 内容 授業参観  
1年生 外国語『好きな色を言おう』  
2年生 生活科『町探検したことを発表しよう』

3年生 算 数『はしたのかさを表そう』  
4年生 算 数『計算のやくそくを調べよう』  
5年生 道 徳『森の絵』  
6年生 道 徳『自分の行動に責任をもとう』  
情報交換会

### 3 第3回ブロック交流研究会

- (1) 目的 新たな教育課題である、ネット・ゲーム依存についての実態を知り、指導法や関係機関との連携の方法などを学ぶ。  
学習や生活の様子を情報交換することで、地域の教育的課題を明らかにし、小中連携して児童生徒の健全な育成を図る。
- (2) 日時 令和2年2月19日(水)
- (3) 場所 甲州市立松里中学校
- (4) 内容 『ネット・ゲーム依存の実態と対応』 15:10～16:10
- i) ネット・ゲーム依存の現状
  - ii) 診断と治療
  - iii) 予防について なりやすさ、なりにくさ 学校教育に求める事
  - iv) ネット・ゲーム依存と感じたらどうすればよいか

## Ⅲ 成果と課題

### 1 成果

- ・児童生徒の実態について情報交換ができ、小中それぞれの指導に役立てることができた。また、小・中の職員が集まって情報交換を行い、全職員で地域の子を見守り、育てるという雰囲気ができた。
- ・共通のネット依存ということを話題にしたためか、小中の情報交換会がテーマをもって進行することができた。また、医療機関との連携ができたこともよかった。
- ・授業参観は準備が大変だった面もあるが、小学校の授業の進め方を中学校教員が知ることができたり、小学校教員同士で授業について考える事ができたりしたのでよかった。

### 2 課題

- ・夏休みの臨地研修は、別の研修や中学校の関東大会が重なり、参加人数が少なくなってしまった。
- ・小規模学区でありながら、小学校・中学校の教員があまり交流を持つ機会がない。そのため、ブロック研で顔合わせの先生方がおり、深い話ができているのも現状である。教員同士がつながりをもって小中連携の意識を高めていきたい。

(ブロック長 雨宮友久)